



NAKANOSHIMA
MUSEUM OF ART, OSAKA

報道関係者各位 | 2025. 9. 19

視覚芸術から広告、ファッション、インテリアへ

超大規模なシミュレーションスーム



ルネ・マグリット 《王様の美術館》 1966年 油彩、カンヴァス 横浜美術館

日常を変える、世界を変える。

Expanding from the Visual Arts to Advertising, Fashion, and Interior Design

2025年12月13日[土]—2026年3月8日[日]

会場 | 大阪中之島美術館 4階展示室 開場時間 | 10:00 ~ 17:00 (入場は16:30まで)

休館日 | 月曜日、12/30、12/31、1/1、1/13、2/24 *1/12、2/23は開館

観覧料(税込) | 一般 1,800(1,600)円、高大生 1,500(1,300)円、小中生 500(300)円 ※()は団体料金

主催 | 大阪中之島美術館 特別協力 | 横浜美術館 企画協力 | 株式会社キュレイターズ



大阪中之島
美術館

NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA



開催趣旨

シュルレアリスム（超現実主義）は1924年にアンドレ・ブルトンが定義づけた動向で、「これまで無視されてきたような種々の連想における高次のリアリティと、夢の全能性への信頼に基づく」ものとされています。無意識や夢に着目したフロイトの精神分析学に影響を受けて発生しました。幻想的雰囲気、日常的事物を覆う不穏な空気、オートマティズムなど、シュルレアリスムにおける表現の形態に一定の傾向を見出すことも可能ですが、シュルレアリスムとは表現の様式をいうものではなく、前述の「高次のリアリティと、夢の全能性」への信頼に基づいた、あらゆる創造行為をさすものでしょう。芸術的革命をもたらしたシュルレアリスムは共産主義やアナキズムなど政治的要素をも内包する一方で、広告やファッション、インテリアなど日常に密接した場面にも拡がりをみせ、社会に対して政治、日常の両面からアプローチしたといえます。

シュルレアリスムが芸術のみならず社会全体に影響をもたらしたことは今日においてもなお特筆に値するものです。シュルレアリスムの発生から約100年を経た今、本展覧会は日本国内に所蔵されている多様なジャンルの優品を一堂に会し、シュルレアリスムの本質に迫ります。圧倒的存在感をもって視覚芸術、ひいては社会全体へと拡大したシュルレアリスムを、表現の媒体をキーワードとして解体し、シュルレアリスム像の再構築をめざします。

本展のみどころ

1 芸術界にとどまらないシュルレアリスム！

オブジェ、絵画、写真などの芸術分野ではもちろん、広告やファッション、インテリアなど日常にも拡大していったシュルレアリスム。それぞれ1章ずつ、全6章の構成により、これまで本格的に検証される機会の少なかった視覚芸術以外の分野を併せて検証することでシュルレアリスムの発展、変遷をたどります。

2 シュルレアリスムの名品が大集結！

サルバドール・ダリ、マックス・エルнст、ルネ・マグリットをはじめとするシュルレアリスムを代表する作家たち。本展覧会には、シュルレアリスムの名品が大集結します。なかでも特筆すべきは、ルネ・マグリット《王様の美術館》（横浜美術館所蔵）の来阪です。大阪中之島美術館のコレクションを代表する《レディ・メイドの花束》とともに、ふたりの山高帽の男が展示室を彩ります。

3 ファッションとシュルレアリスム エルザ・スキヤパレッリ

シュルレアリストたちとの交流が深かったデザイナー、スキヤパレッリ。彼女の代名詞ともいえるショッキング・ピンクのドレス（イヴニング・ドレス「サークัส・コレクション」、島根県立石見美術館所蔵）をはじめ、独自のデザインが施された香水瓶やジュエリーなど、多岐にわたるスキヤパレッリ作品が集結します。



左：ルネ・マグリット《王様の美術館》
1966年 横浜美術館

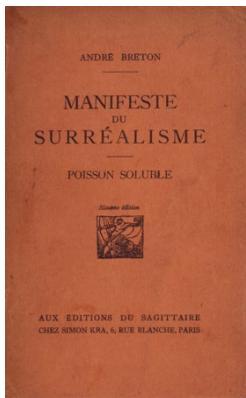
右：エルザ・スキヤパレッリ
《香水瓶「スリーピング」》
1938年 ポーラ美術館



展示構成

■ 第1章 オブジェ—「客観」と「超現実」の関係

シュルレアリズム、それは私たちが疑う余地なく現実だと認識しているものの中から、より上位の現実である「超現実」を露呈させることです。客体 (=objet [仏]/オブジェ) として事象をみつめることで「超現実」と向き合ったシュルレアリストたちのオブジェにより、シュルレアリズムの扉を開きます。



アンдре・ブルトン
『シュルレアリズム宣言・溶ける魚』
(初版本)
1924年 岡崎市美術博物館



フランシス・ピカビア《黄あげは》
1926年 大阪中之島美術館

■ 第2章 絵画—視覚芸術の新たな扉

「自動筆記」(オートマティズム) という文学的な実験に由来するシュルレアリズムは、長い伝統をもつ絵画の領域にも広がります。エルンスト、マグリット、デルヴォー、ダリなどはそれぞれの個性豊かな作風や技法を使って、人の深層心理や夢想を反映した不可思議な光景や人物像を描きました。



イヴ・タンギー《失われた鐘》
1929年 豊田市美術館



ルネ・マグリット
《レディ・メイドの花束》
1957年 大阪中之島美術館



■ 第3章 写真—変容するイメージ

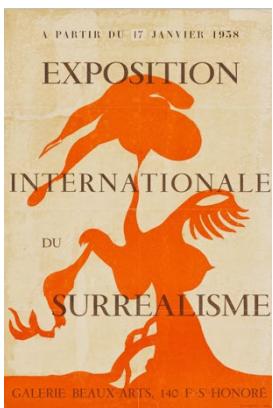
19世紀前半に誕生した写真術は、被写体をそのまま写すという本来の役割を超えて、20世紀美術を彩る主要な表現のひとつになります。シュルレアリストは多様な技法を駆使して、日常的なモチーフを斬新で謎めいたイメージへと変えました。マン・レイを筆頭に、各国の芸術家が多彩な写真表現に取り組みます。



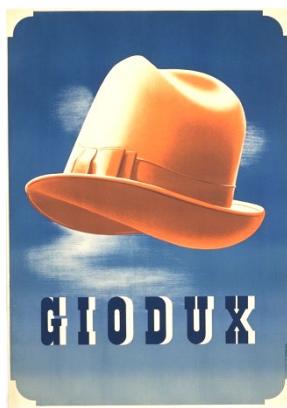
ヴォルス《美しい肉片》
1939年 個人蔵

■ 第4章 広告—「機能」する構成

本展覧会のテーマは「拡大するシュルレアリズム」。4章からは、オブジェ、写真、絵画といった芸術と呼ばれる領域から、さらに広く目を向けます。デペイズマンやコラージュ、フォトモンタージュなどシュルレアリズムにおいて多用されたテクニックを発揮した、訴求力に富んだ広告に注目します。



クルト・セリグマン
《国際シュルレアリズム展》 1938年
サントリーポスターコレクション
(大阪中之島美術館寄託)
後期展示



フリット・ビューラー
《ポスター「ジオデュの帽子」》
1934年
宇都宮美術館
後期展示



■ 第5章 ファッション—欲望の喚起

シュルレアリスムは、モードやファッションと近接する場にありました。服飾そのものや服飾雑誌にシュルレアリスム的手法が用いられるとともに、服をまとうマネキンを身体のオブジェ化としてとらえるなど、シュルレアリストたちのインスピレーションの源ともなりました。ファッション界とシュルレアリスムの関係を探ります。



ヴォルス
《無題》 1937 / 1979年の再プリント
横浜美術館
後期展示



エルザ・スキヤパレッリ
《イヴニング・ドレス「サーカス・コレクション」》
1938年 島根県立石見美術館
前期展示

■ 第6章 インテリア—室内空間の変容

違和感を引き起こして現実に揺さぶりをかけるシュルレアリスムにとって、日常生活の場である室内の安定した秩序を転覆させることには大きな意味がありました。室内に置かれる家具もまた、有機的な形態を特徴とする、奇妙なオブジェへと変貌します。シュルレアリスムによる空間への関与をご覧いただきます。



関連イベント

※最新のイベント情報は展覧会公式サイトをご覧ください。

■ 講演会 シュルレアリスムと「偶然の出会い」？—コラージュ・オブジェ・日本

登壇者：速水 豊（三重県立美術館長）

開催日時：2025年12月13日（土）14:00 – 15:30（開場 13:30）

会場：大阪中之島美術館 1階ホール

定員：150名（先着順、事前申込不要）

参加費：無料 *本展観覧券(利用後の半券可)が必要です。

■ 担当学芸員によるギャラリートーク

開催日時：2026年1月15日（木）、2月4日（水）14:00 – (13:45受付・45分程度)

会場：大阪中之島美術館 4階展示室

定員：30名（要事前申込）*約1か月前募集開始予定

参加費：無料 *当日ご利用になる観覧券が必要です。



オリジナルグッズ

本展特設ショップ限定のオリジナルグッズを販売予定！ 詳細は後日、公式ホームページにて公開予定です。

開催概要

展覧会名	拡大するシュルレアリスム 視覚芸術から広告、ファッション、インテリアへ
会期	2025年12月13日（土） - 2026年3月8日（日） 前期：12/13（土） - 1/25（日） 後期：1/27（火） - 3/8（日）
休館日	月曜日、12/30（火）、12/31（水）、1/1（木・祝）、1/13（火）、2/24（火） *1/12（月・祝）、2/23（月・祝）は開館
開場時間	10:00 - 17:00（入場は16:30まで）
観覧料	一般1800円（団体1600円） 高大生1500円（団体1300円） 小中生500円（団体300円） 当館メンバーシップ会員の無料鑑賞／会員割引 対象 *税込価格。*2025年11月13日（木）10:00から販売開始予定 *本展は日時指定制ではありません。 *団体料金は20名以上。団体鑑賞をご希望の場合は事前に大阪中之島美術館公式ホームページからお申込みください。 *学校団体の場合はご来場の4週間前までに大阪中之島美術館公式ホームページ「学校団体見学のご案内」からお申込みください。 *障がい者手帳（身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳）をお持ちの方（介護者1名を含む）は 当日料金の半額（要証明）。ご来館当日、2階のチケットカウンターでお買い求めください。（事前予約不要） *一般以外の料金でご利用になる方は証明できるものを当日ご提示ください。 *本展は、大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です。 *災害などにより臨時で休館となる場合があります。
チケット販売場所	大阪中之島美術館チケットサイト、ローソンチケット（Lコード：55812）、ローソン各店舗
会場	大阪中之島美術館 4階展示室
主催	大阪中之島美術館
特別協力	横浜美術館
企画協力	株式会社キュレイターズ
巡回情報	東京オペラシティアートギャラリー 会期：2026年4月16日（木） - 6月24日（水）（予定）
展覧会公式ホームページ	https://nakka-art.jp/exhibition-post/surrealism-2025/
お問い合わせ	06-4301-7285 大阪市総合コールセンター（なにわコール） *受付時間8:00～21:00（年中無休）

本展の広報用画像のお貸出しについては、下記URLよりお申し込みください

<https://www.artpr.jp/nakka-art/surrealism-2025>

報道関係者

「拡大するシュルレアリスム」広報事務局（株式会社FAITH内）

お問い合わせ先

担当：小林、松本

E-MAIL：surrealism2025.exhibit.pr@gmail.com